

2月 ばら組くらすだより



やわらかな日差しに少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。まだ寒い日もありますが、子どもたちは元気いっぱい遊びながら毎日を過ごしています。いよいよ今年度も残りわずかとなりました。この一年、友達と関わる中で思いを伝え合ったり、自分でできることが増えたりと、一人一人が大きく成長しました。最近では「もうすぐ大きい組！」と進級を楽しみにする声も聞かれます。来年度へ向けて少しずつ心の準備をしながら、残りの日々も友達とともに笑顔いっぱい過ごしていきたいと思います！

そら組と遊んだよ！

そら組の保育室で、触れ合い遊びをしました。はじめに、ペアになり「ひつつきもつつき」をしました。そら組の劇でやっていたトンネルくぐりを一緒にしたり、ばら組が歌った『おばけなんてないさ』を皆で歌ったりと、発表会の余韻を楽しめるひと時となりました！その後、そら組が使っていた楽器の持ち方や鳴らし方を一つ一つ丁寧に教えてもらい、実際に触らせてもらいました。きれいな音や大きな音が鳴るたびに目を輝かせ、夢中で繰り返し鳴らす姿が見られました。年長さんへの憧れがますます膨らみ、来年の楽器遊びへの期待も高まっているようです。



ひな飾りをつくったよ！

ひな祭りに向けて、ひな飾りづくりをしました。『ひなまつり』の歌を歌いながら、「すましがお~♪ってどんな顔かな？」と尋ねると、「こんな顔だよ」と、友達同士で顔を見せ合う姿がありました。ひな人形づくりでは、少し難しい折り方に挑戦しました！友達と、「こうかな？」と折り方を確かめ合いながら、折り目をしっかりつけたり、端と端をぴったり合わせたりと、丁寧に折ることができていました♪顔は切り張りで作りました。まつ毛や頬を付けて表情豊かに作る子どももいれば、納得のいく形ができるまでじっくりと切る姿もあり、それぞれの思いが感じられました。一つ一つ違った表情の、世界に一つだけの素敵なひな飾りが出来上がりました。



皆で頑張った生活発表会♪

二学期から、おばけの絵をかいたりつくったり、おばけごっこをしたりと、おばけに関する遊びを楽しんできたばら組。特にお気に入りだった絵本『おばけのえんそく』の劇をしました。はじめは絵本の物語に沿って、皆でおばけになって遊んでいましたが、繰り返して遊ぶうちに、「夜だから“こんばんは”って挨拶しよう！」「海坊主は力持ちだからこんな風に歩こう！」と、子どもたち自身のアイデアが次々と生まれ、ばら組らしさが加わってきました。自分で考えたことが取り入れられる喜びは、大きな自信につながったようです。楽器遊びは、素材でつくった手作り楽器の演奏会から始まりました。はじめは夢中になって自由に鳴らしていた楽器遊びも、繰り返し遊ぶ中で、リズムに合わせて鳴らすことを楽しむ姿が見られるようになりました♪歌の発表は、今までの中で特に皆が楽しんで歌っていた曲を選びました。初めは緊張が感じられていた子どもたちも、何度も遊び、楽しむ中で緊張も和らぎ、当日は一人一人が堂々と発表する姿を見せてくれました。後日、発表会で印象に残っていることを絵にかきました！同じ場面でも、少しずつかいていることが異なり、一人一人の思いがたくさん詰まった絵になりました。

